



カムカムよってって



2026年 3月よってって在宅診療所
052-626-1215 E-mail:yottette-zaitaku @minami.or.jp

3月は温かい日もあれば寒い日もあり、気温の変化が大きく、体調管理が難しいですね。よってって在宅診療所のスタッフも花粉症や体調を崩したスタッフがいましたが、がんばって訪問しています。桜も咲き春らしい季節になりました。



医療的ケア児 個別避難訓練に参加しました。

訪問診療を行っている患者様の地震を想定した避難訓練に参加しました。

行政・地域支援者・訪問診療・訪問看護・訪問介護・普段関わっている関係者・専門的なアドバイザー（小児科医師・防災教育センター・救命救急センター・地域・在宅看護学の教授）と多くの関係者と一緒に行いました。

訓練に向けて打ち合わせをして、それぞれの役割分担を行い、避難するところまで行いました。

打ち合わせから参加した看護師は災害時の注意する点が明確になったと。

訓練に参加した医師はアドバイザーの参加があり、学ぶことがたくさん

あった。まずやることは、家族や他事業所との連絡のために ICT 化を進めること。それで、取り組みを始めています。



よってって在宅診療所では、災害時を想定し人工呼吸器のバッテリー時間の把握、医療機器業者からの情報収集を行っていますが、まだ進められていない状態です。今回の避難訓練で学んだことを在宅診療所での防災対策に役立てたいと思います。

プチエピソード

がん末期の方で妻と2人で暮らしていました。初回に訪問すると、とても素敵なお家でした。ご本人・妻と家を建てた時のことを話してくれました。木にこだわって建てたそうです。ベッドにもこだわり、「介護ベッドだと病人になるから」と言われ、家具調のベッドで寝ていました。段々と辛い症状が出て入院され、数日でお亡くなりになりました。後日、自宅に訪問し、妻から「本人がぎりぎりまで自宅で過ごせてよかった」また「ベッドはまだ使えるから使ってもいいよ」って「私が寝ていいのかしら・・・」看護師は「思い出のベッドだから使ってほしいと思いますよ」と「そうね」お別れしたのはとても悲しいですが、夫からの言葉でまた次の生活へと気持ちが前に進んでいた妻に少し安心しました。

お知らせ

よってって在宅診療所は4月から医師が増え・言語聴覚士（ST）さんが入ります。診療枠は増えているので新規対応は受け入れ可能です。新規依頼お待ちしております。また訪問リハビリについてはまだ準備段階ですので詳しい内容は今後お知らせしていきます。